

ふるさと劇場 第119回公演

ブルースの将軍の再来

菊田俊介

町田謙介

9.5

土曜日



入場料
陸別町民 無料
陸別町外 1000円
高校生以下 無料

開場 17:30
開演 18:00

チケット取扱
陸別町教育委員会
高萩寝装店
中村商事
ふるさと劇場会員

陸別町タウンホール 2F

陸別町陸別東1条3丁目1

問合せ 陸別町教育委員会 0156-27-2123

菊田俊介



栃木県宇都宮市出身。1986年ボストンのバークリー音楽大学に留学。1990年同校卒業と同時に、ブルース・ミュージシャンを目指してシカゴに移住。

ストリート・ミュージシャンから始め、後に”ブルースの女王”ココ・テイラー、JW ウィリアムス、ジュニア・ウェルズ、オーティス・クレイ、ジェイムス・コットンなどのバンドで活動。

ライブやアルバムでの共演は、バディ・ガイ、オーティス・ラッシュ、ボ・ディドリー、アーマ・トーマス、ケニー・ウェイン・シェパード、ヒューバート・サムリン、シーナ&鮎川誠、近藤房之助、山本恭司、野村義男、ローリーなど多数に上る。

全米放映された”An Evening with B.B.King”でB.B. キングと共演。

マーティン・スコセッシ監督総指揮の映画”The Blues”に出演。

ケネディー・センター・オナーズではジョージ・ブッシュ大統領の前でプレーし、司会のクリント・イーストウッドから「ブルースの将軍」の愛称を与えられる。

グラミー賞にノミネートされたココ・テイラーの”Old School”に参加。

シカゴ音楽賞を JW ウィリアムスのバンドで受賞。

2011年から本格的にソロ活動を開始し、シカゴ・ブルース・フェス、ニューオーリンズ・ジャズ&ヘリテージ・フェス、ホール・ブルース・クラブ、フジロック、ジャパン・ブルース・フェス、ジャカルタ・ブルース・フェス、台湾ブルース・バッシュ、北京ブルース・フェスなど、世界20カ国以上でライブツアーやワークショップを行い、現在は日本やアジアでの活動にも力を入れている。

町田謙介

北海道名寄市生まれ。各ジャンルを吸収し、独自の感性で表現するブルースマン。

日本人離れしたハリと丸みのある独特なヴォイスとアコースティックギター演奏には定評がある。

メジャーレーベル P-VINE から4枚の C.D. アルバムを発表、CD ジャーナル賞、

ブラック・ミュージック・レビュー賞など多くの賞を受賞、

アメリカの権威のある音楽メディア「CMJ(College Media Journal)」で高い評価を得る。

オリジナル曲「マグノリア」が AIRDO の機内音楽として流れる。

台湾ツアー、中央線24日間連続マラソンライブ等を成功させ数々のメディア（朝日新聞等）に紹介される。

大土井裕二（チェッカーズ）、新井田耕造（R.C.サクセション）、近藤房之介、ゴスペラーズ、Crystal Key、ミイ（ピンク・レディ）、片山広明、しりあがり寿、ベイカーショップブギ等とも共演。

他にも CM、コーラスレコーディング（平井堅 etc.）、TV(NHK ごごナマ)出演、

ラジオ出演、等幅広い音楽活動の他、役者、ライター、デザイナーなどマルチな顔を持つ。

70年代の札幌羊ヶ丘を舞台にした小説「ジャンク・ジャングル・キッズ」を出版、北海道新聞などに大きく取り上げられる。

2019年12月には日本テレビ「新・日本男児と中居」でギター講師として出演者にギターを教える場面と、収録スタジオでのライブがオンエアされる。

2023年から長年拠点としていた東京を離れ帯広に移り住み、道東を中心に音楽活動を進めている。

なんちゃってオールスターズ

菊田俊介北海道ツアー道東編をサポートするために集まったメンバーの総称。

普段は各自各方面で活動しており、この時だけ結集するスーパーバンドです

Vo こずえ（弟子屈） Key 岡やん（釧路） Bass みす（弟子屈） Dr ケイゴ（東京）

